

(4) ゲームとの付き合い方を考えよう!(メディアリテラシー)

<概要>

1980年代以降、ゲームが子どもたちの遊びの中心を占めるようになり、同時に子どもとゲームの関係について、様々な問題が指摘されるようになった。具体的には、子どもたちの睡眠不足、運動不足、視力低下といった問題が指摘されている。そのため、子どもにゲームをやらせてはいけないという主張も少なくない。

しかしながら、そのような様々な指摘に対して、われわれは慎重である必要がある。ゲームとの適切な付き合い方を考える際に重要なことは、ゲームを制限するのではなく、子どもたち自らが、ゲームとの付き合い方に自覚的になることである。実際にゲームが子どもたちにどのような影響を与えているのか、明確に判断することはできないが、子どもたちがもし惰性で長時間ゲームを続けているならば、それは問題だと言える。何もゲームに限ったことではないが、子どもたちはゲーム以外にも、たくさんを経験すべきだと言えるからである。

そこで、本授業では、ある少年のゲームとの付き合い方の映像教材を見て、悪かった点を探しながら、ゲームで遊ぶ時に家族と「家庭のルール」を決めておくことの大切さに気付かせる内容となっている。決めておくといルールとしては、例えば、ゲームで遊んでよい時間、ゲームで遊ぶ場所、ゲームで遊ぶ前後にすること、ルールを守らなかったときのことなどが挙げられる。

また、最近では、ゲームでのインターネット接続に関する問題も発生してきている。本授業では、ゲームもパソコンや携帯電話と同じようにインターネットに接続できること、情報を得たり発信したりすることができることも紹介する。

<授業内容>

対象学年 : 小学校高学年 中学生




時数 : 1コマ

授業の目標 :

- 1) ゲームと上手に付き合うためのルールづくりの重要性を理解する。
- 2) ゲーム機でのインターネット接続について知る。
- 3) ゲームばかりやるのではなく、他のこととバランスよく生活しようと思うようになる。




展開計画 (小学生向け 45分) :

時配	学習活動と内容 (○)	留意点 (●)	準備物 (☆)
5分	1. いつもどれくらいゲームをしているか ふりかえてみよう。 ○授業者が実際にゲーム「フリフリ！サルゲッチュ」をやってみせ、ゲームの具体的なイメージを持つ。	●実際にゲーム機を持ち込み、具体的な理解を促す。 「フリフリ！サルゲッチュ」がSCEのゲームソフト「サルゲッチュ」シリーズの一つであることを伝える。	☆学校に用意していただきたい物、★ACEで用意する物 ☆プロジェクター ☆スクリーン ☆黒板 (もしくはホワイトボード) ★PC ★PlayStation®3 ★スピーカー


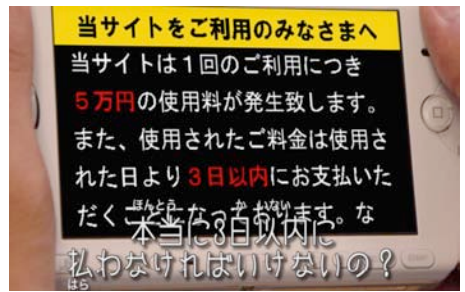
	<p>○普段どれくらいゲームをしているか、該当する項目に挙手する。</p> <p>○なぜ、ゲームに夢になってしまうのかを考える。</p> <p>「サルゲッチュ サルサル大戦略」プロデューサー 太田 直仁(おた なおと)さん</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ 現実ではないことを楽しめる ■ つかまえるのがむずかしいサルをのこしておき、何度でも遊べるようにする 	<p>●以下の項目に分けて聞く。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎日30分くらい 2. 毎日1時間くらい 3. 毎日2時間以上 4. 1週間に2, 3回 5. ほとんどやらない 	<p>★ゲームソフト 「フリフリ！サルゲッチュ」</p>
15分	<p>2. ビデオを見て考えよう！</p> <p>○映像教材「ゲーム依存編」を視聴し、主人公の悪かったところを考える。</p> <p>○主人公のゲームとの付き合い方で悪かったところを探し、発表する。</p>	<p>●主人公の名前、年齢などを確認しておく。</p>	<p>★映像教材「ゲーム依存編」</p> <p>★ワークシート</p>
10分	<p>3. どんなルールが必要か考えて、発表しよう！</p> <p>○班毎に、主人公の家庭にどのようなルールがあればよかったのか、話し合い、発表する。</p> <p>○解説を聞き、ゲームと上手く付き合うためには、家族とルールをつくっておくことが大切であることを理解する。</p>	<p>●主人公の悪かったところを参考に、どのようなルールが必要か考えさせる。</p> <p>●発表内容を板書する。</p> 	
10分	<p>4. ゲームでのインターネット接続について知ろう！</p> <p>○映像教材「ネット接続編」を見て、ゲームでのインターネット接続について理解する。</p>	<p>●ゲーム機でインターネット接続する際にも、きちんとルールを決めておく必要があることを伝える。</p>	<p>★映像教材「ネット接続編」</p>

	○解説を聞き、ゲームでも携帯電話やパソコンと同じようにインターネットを利用できるため、トラブルにならないよう気をつける必要があることを知る。		
5分	5. まとめ ○映像教材「太田さんからのメッセージ」を見て、ゲームを作っている人は、ゲームばかりせず様々なことに挑戦し、バランスよく生活してほしい、というおmoiをもっていることを理解する。		★映像教材「太田さんからのメッセージ」


<映像教材>
「ゲーム依存編」

画面	内容
1. 主人公の紹介 	主人公は、野球が好きな少年であるが、知り合いの紹介から野球ゲームにはまってしまい、ゲームばかりするようになってしまう。
2. 主人公がゲームばかりしてしまう 	ゲームばかり行うようになり、次第に生活も不規則になり、家族や友人との関係も悪くなる。
3. 家族会議を行う 	そんな主人公の様子をみていた家族がついになんとかしなければならぬと思い、家族会議を行う。そして、どのようにすれば主人公がゲームをやり過ぎてしまわなかったのか、検討する。

「ネット接続編」

画面	内容
<p>1. ゲーム依存編から1年後の設定</p> 	<p>ゲームばかりしてしまっていた頃から1年が経ち、両親ももうゲームばかりしてしまうことはないと安心している。しかし、今度は据え置きではなく、自分の部屋でも行えるポータブルのゲーム機でインターネットに接続して遊んでしまう。</p>
<p>2. インターネットでのトラブルが発生</p> 	<p>ゲーム機でインターネットに接続して、いろいろなサイトにアクセスしているうちに、架空請求されてしまう。</p>

「太田さんからのメッセージ」

画面	内容
	<p>「普段しなきゃいけない勉強とか、スポーツとか、楽しい趣味があったり、家での手伝いをしたり、いろいろやることがあると思うんですけど、そういったことをバランスよく、そしてその中での一つとしてゲームを遊んでもらうというのが、ゲームを作っている僕らのねがいですので、いろんなことを体験し、そしてバランスよくいろんなことを体験してほしいと思います。」</p>

「ワークシート」

ゲームとの付き合い方を考えよう

年 組 名前

健太くんの愚かったところをかいてみよう

健太くんは家族とどんなルールを決めておけばよかったかな？

ゲームと上手につきあうためには？

家族と話しあいながら、

きちんと をつくるのが大切！！

「家庭で見てもらうチラシ」

児童・生徒のみなさんへ

ゲームと上手につきあおう！！

家庭のルールを決めよう！

みなさんは、ゲームで遊びすぎて、宿題ができなかったり、寝る時間が遅くなったりしていませんか？
ゲームで遊ぶときは、家族と「家庭のルール」を決めましょう！

<p>1 ゲームで遊んでよい時間は、1日 <input style="width: 50px;" type="text"/> 分まで。 <small>たとえば、 ・1日30分まで、 ただし、水曜日と土曜日はゲームで遊ばない。</small></p>	<p>2 ゲームで遊ぶ場所は、<input style="width: 100%;" type="text"/> <small>たとえば、 ・家のリビングで、 ・自分の部屋には持っていかない。</small></p>
<p>3 ゲームで遊ぶ前（後）には、<input style="width: 100%;" type="text"/> <small>たとえば、 ・ゲームで遊ぶ前には、宿題を終わらせる。 ・ゲームで遊んだ後は、お手伝いをする。</small></p>	<p>4 ルールを守れなかった場合には、<input style="width: 100%;" type="text"/> <small>たとえば、 ・1週間ゲームで遊ぶことを禁止する。</small></p>

インターネットへの接続は危険なことも

ゲーム機をインターネットに接続すると、いろいろな情報を手にすることができます。でも、みなさんだけで自由にインターネットに接続していると、危険な目にあうこともあります。

例えば、突然「あなたが使用したサイトの利用料2万円を支払ってください」という架空請求があったり…、自分の名前や学校名、年齢などの個人情報をブログなどに書き込んでしまい、知らない人あなたがストーカーされたり…なんてこともあります。

また、インターネット上で、違法なゲームファイルをダウンロードすることは、「著作権法」という法律に違反する行為であり、犯罪です。

インターネットに接続するときは、よく家族と相談しましょう。

株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント NPO法人企業教育研究会

<子どもたちの感想>

- ★ 私はゲームはほとんどやっていないけど前にやった時のことを考えると結構やっていたなと思いました。やる時はルールをしっかり守ってやりたいと思いました。(小5)
- ★ 今日はゲームのおもしろさや注意点などがよく分かりました。ビデオを使ったりして、とても丁寧に教えてくれたし説明が分かりやすかったです。めったにないことなのでよい経験になったと思います。(小5)
- ★ ゲームの使い方や日ごろ自分がしていたゲームが一步違うサイトにいったら、危険なことになってしまうということを初めて知った。これからはルールを守って楽しくゲームと付き合いたいと思った。(小6)

※また、本授業とは別に、メディアリテラシー教育の発想に依拠し、子どもたち自身が「ゲームをつくった人は、ゲームに夢中にさせるためにどんな工夫をしているのか」、「なぜゲームをやりすぎてしまうのか、ハマってしまうのか」を考えることによって、自分とゲームとの関係に自覚的になることを目指した授業も用意している。詳しい授業内容は、お問い合わせください。